

吉林省自学考试、职称考试辅导教材

主编 肖 平 朱立军



日语

快速阅读

(修订本)

第1册



东北师范大学出版社

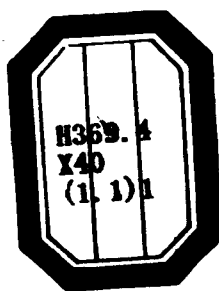
450450

日语快速阅读

修订本

第1册

主 编 肖 平 朱立军
副主编 李若柏
审 校 徐 冰



00450450

东北师范大学出版社

(吉)新登字 12 号

YUE DU

日语快速阅读

RI YU KUAI SU YUE DU

(修订本)第一册

主编 肖 平 朱立军

责任编辑:金 娜 封面设计:李冰彬 责任校对:佐 群

东北师范大学出版社出版 东北师范大学出版社发行部发行
(长春市人民大街 138 号) 吉林农业大学印刷厂制版
(邮政编码:130024) 吉林农业大学印刷厂印刷

开本:787×1092 1/16 1998 年 10 月第 1 版
印张:11.75 1998 年 10 月第 1 次印刷
字数:240 千 印数:0 001—4 000 册

ISBN 7 - 5602 - 0570 - 4/H · 57 定价:13.00 元

修订版前言

《日语快速阅读》是参照国家教委最新颁布的《大学日语教学大纲》及《日语专业基础阶段大纲》编写的一套日语快速阅读教程。

本书强调知识性、趣味性和教育性的统一，主要具有以下几个特点：

1. 题材广泛，文理兼顾，内容新颖，通俗易懂。
2. 课文内容均选自日文原版书籍（略有删改），保证了语言的规范和标准。

3. 作为快速阅读书籍，主要着眼于培养学习者的阅读速度和读解能力，强调在单位时间内准确快速地获取所需信息。因此，要求学习者在20~30分钟内读完每篇课文并迅速回答出读解练习中所提出的问题。每次练习后，教师和学习者可及时记录阅读和完成练习所需要的时间及答案的正确率，以便日后进行评估。

4. 本书主要对象：高等院校日语专业的基础阶段及公共日语，非日语专业研究生，各类自学考试日语考生，中学教师，以及其它各界具有一定基础的日语学习者。

《日语快速阅读》自出版以来受到广大使用者的热情关怀和支持，读者们希望我们对原版进行修订，增加译文部分。我们在原书的基础上作了若干修改和补充，增添了词组解释并附有参考译文。修订版由两部分组成，第一部分是原文，第二部分是译文。为了便于读者阅读译文，一方面使它尽可能接近原文结构，另一方面做到文字通顺，符合汉语表达习惯。希望它能对朋友们的学习有所帮助。译文由赵晶华、朱立军译。

参加本书编写和修订工作的主要有肖平、李若柏、祝大鸣、杨金萍、于环萍、卢丽、徐曙、苑仁海、金玉子、林岚、曹敏、蔡旭阳、李旭光、崔肃京、鲁燕、赵晶华、朱立军、王闯等。东北师大外语系徐冰副教授对全稿做了统校，谷学谦教授给予热情支持和帮助，在此深表谢意。

本书若有疏漏不当之处，恳请读者批评指正。

编者

1997年7月

目 录

1. もう一人の彼	(1)
2. 友達のできない人に	(5)
3. 日本人はどこから来たか	(8)
4. ネス湖の怪獣	(11)
5. 私達を守ってくれる大気と磁場	(14)
6. 女医を目指して一吉岡弥生	(17)
7. 茶碗をぐるぐる回すわけ	(20)
8. DOPを飲んだ男	(23)
9. イカルスの悲劇	(27)
10. 自転車の工夫	(31)
11. 飛びこめ	(34)
12. 熱の伝わり方	(38)
13. 紙屑とおかしな男	(41)
14. ケニアの旅	(45)
15. 子供の祝い一七五三	(48)
16. 笑いの本願	(51)
17. 友の命	(54)
18. 時計はなぜ右まわりか	(58)
19. 天平の留学僧	(62)
20. 酔いどれの帰宅	(65)
21. 恐竜の話	(68)
22. 悪魔の毒ガス実験場	(71)
23. 科学技術革命と文明の危機	(74)
24. 「東方見聞録」と黄金の国	(77)
25. ピーナッツ	(80)
26. 動物の体内時計	(83)

27. カベル女史	(86)
28. 一言の違い	(89)
29. 銀の燭台	(92)
30. 日本人の政治意識	(95)
31. 妙な趣味	(98)
32. 空飛ぶ円盤	(102)
33. この水のために	(105)
34. 生きることの意味	(108)
35. ソ連旅行の必携品	(112)
36. 外来語と日本文化	(116)
37. “夜と霧”の爪跡を行く	(119)
38. 外国人と身振り	(122)
39. 人間という動物	(125)
40. 二度と通らない旅人	(128)
读解练习答案	(132)

附录: 译文(1—48 页)

1. もう一人の彼

ドッペルゲンゲルというドイツ語がある。辞書には“分身”と訳される。ある人の体が別々に分れて、同時に違った場所にいることをいうのである。

「そんなことがあるものだろうか。」と、ヘンリー・ホフバワーは、その話をした上級生で勉強家のファーノーに言った。「ウソだと思うなら、図書館へ行って超心理学の本を読んでごらん。」

ヘンリーは翌日、図書館へ行くと、超心理学の本を借り出した。多くの人が読んだと見えて、本の表紙は手垢でよごれていた。

心理学という学問が難しいところへ、超心理学となると、ヘンリーには読んでいても分からないことばかりだった。が、そのうちについにドッペルゲンゲルという章に行きあたった。彼はその章を何度も繰り返して読んだ。そして、どうにか、自己催眠、精神統一、想像力をたくましくすること、第二の自分の姿を頭のなかに描くこと……などを理解することができた。自己催眠とは、超心理学で言えば、一種の自己暗示にすぎない。

ある夜、ヘンリーは、第二の自分をつくる最初の実験をやってみた。彼が、これから行こうとするところは遠い昔のギリシャだった。れきしで習った昔の土地を自分の足で踏み、自分の目で見ようと思った。

精神統一をして念じているうちに、いつか彼は無意識の状態にはいった。自己催眠に陥ったのである。

しばらくまっくらな世界の中をさまよっていたと思ったら、やがて、前方に青い海と美しい緑の山が見えた。その山のなかに広大な都市があった。

驚いたことに、それはアテネの都だった。丘には、パルテノンの石造の建物があつた。それもれきしの本で見えるような、半ば崩れたものではなく、新しい立派なものだった。

2000年前のアテネの町が見あきると、次にはエジプトへ行った。それからバビロン、そしてローマへも行った。

そろそろ現代のフロリダへ帰ろうとした時、彼はふと日ごろかわいがってくれる西バージニアのおばあさんの家へ行ってみたくなった。

次の瞬間、彼はおばあさんの家の玄関の前に立っていた。彼女は用心深く、家のまわりの戸締りを厳重にしていた。ところが、ヘンリーの体は、その玄関のドアを、空気のなかへでもとけこむように、すうっと通り抜けて行く。彼はそのとき始めて、これが分身というもののかと思った。

彼は居間を通り抜けて寝室へはいった。すると寝台の下に眠っていた愛犬のジョーが、ウ……とうなると、ものにおびえたように、けたたましく吠え出した。

暗やみのなかに、スタンドのスイッチを捻ねる音がした。寝室が明るくなると、

「まあ、ヘンリー、あんただったの？ どうして今ごろ来たの？ どこか具合でも悪いの？」

ヘンリーは、自分の分身は、祖母や犬には見えないものと思っていたので、こうなると、工合が悪かった。さっそく退却することにした。

「ヘンリー、お待ち。」

関節炎をわずらっている祖母が、廊下をバタバタやって来る足音を背後に聞いた。それを最後にあたりはまっくらになった。

気がついてみると、ヘンリーは寝台に寝ていて、母親が濡らしたタオルで彼の顔を拭いていた。父親は心配そうな顔をして、彼の手を激しくこすっていた。彼の体は氷のように冷たくなっていた。

ところが、二日後に、西バージニアのおばあさんから、航空便が届いた。

「ヘンリー、あなたは元気であるの？ おばあさんは、あなたに何か間違いがあったのではないかと心配しているのです。私は、あれが夢ではないかと思っています。けれど、そのとき私は、ちゃんと目を覚ましていたのだし、あなたが、私の寝台のわきに立っているのをはっきりと見ました。そして、あなたは私に何も言わないで、寝室を出て行ったのです。私は懐中電灯を持って、窓や玄関の戸締りを調べました。ところが、どれにも内側から鍵がかけてあるのです。そこで私は、あなたが死んで、あなたの霊が私に会いにきてくれたのかと思いました。ですが、そうだったらあなたの家から電話ですぐに知らせてくれるはずですよ。ところが電話はかからなかったのです、私のほうから反対に手紙を書いたのです。」

祖母の家の犬が、ヘンリーに吠えなかったことから考えると、“分身”ということは実際にあるらしいのである。

(黒沼健著「第二の世界物語」による)

〔読解練習〕

1. ドッペルゲンゲルという言葉は_____という意味である。
 - A. ドイツ語
 - B. 分身
 - C. 超心理学
 - D. 辞書
2. ドッペルゲンゲルという章を何度も繰り返して読んだ後_____。
 - A. ヘンリーが超心理学を理解した
 - D. “分身”というものを理解した
 - C. 上級生のファーノーの言ったことを理解した
 - D. 自己催眠などを理解した
3. 自己催眠とは、超心理学で言うと、_____。
 - A. 一種の自己暗示にすぎない
 - B. “分身”というものである
 - C. 精神統一というものである

- D. 無意識の状態というものである
4. ある夜、ヘンリーは、第二の自分を作るためにはどんなことをやっていたのか。
- A. 遠い昔のギリシヤへ行った
B. れきしで習った昔の土地を自分の足で踏んだ
C. 第二の自分の姿を頭のなかに描いた
D. 自己催眠の実験をやった
5. 無意識の状態にはいった後、ヘンリーは_____。
- A. 第二の自分を見た
B. れきしの本で見るようなアテネの都を見た
C. れきしの本で見るようなパルテノンの石造の建物を見た
D. れきしの本で見るものと違ったパルテノンの石造の建物を見た
6. ヘンリーはいつから分身というものを意識し始めたのか。
- A. 玄関のドアをすうっと通り抜けて行く時
B. おばあさんの家の玄関の前に立っていた時
C. フロリダへ帰ろうとした時
D. おばあさんの寝室へはいった時
7. ヘンリーはなぜおばあさんの寝室から退却するようになったのか。
- A. 寝室が明るくなってきたから
B. 寝室の下に眠っていた愛犬におびえたから
C. 自分の分身は工合が悪かったから
D. 祖母に聞かれたから
8. 西バージニアのおばあさんはなぜヘンリーに手紙を書いたのか。
- A. 長い間、ヘンリーから何の消息もなかったから
B. ヘンリーに何か間違いがあったのではないかと心配するから
C. 夢でヘンリーを見たから
D. ヘンリーの霊に会ったから

〔難しい言葉〕

- ①ドッペルゲンゲル/分身
②行きあたる（ゆきあたる）/走到尽处
③たくましい（逞しい）/顽强
④さまよう（彷徨う）/彷徨，徘徊
⑤とけこむ（溶けこむ）/融入
⑥おびえる（脅える）/害怕，惧怕
⑦けたたましい/（声音）尖锐
⑧スタンド/台灯
⑨スイッチ/开关
⑩わずらう/烦恼，苦恼

- ⑪こする(擦する)/擦, 搓
- ⑫陥る(おちいる)/陷入, 陷于
- ⑬日ごろ(ひごろ)/平常
- ⑭用心深い(ようじんぶかい)/十分小心, 十分谨慎
- ⑮戸締り(とじまり)/锁门, 关门
- ⑯戸締りを厳重(げんじゅう)にする/把门关严
- ⑰気がつく(きがづく)/发觉, 察觉, 想起
- ⑱目を覚ます(さます)/醒来
- ⑲具合が悪い(ぐあい)/不合适, 不方便

〔注〕

- ①ヘンリ・ホフバワ/亨利・赫弗巴奥。
- ②フアーノー/法诺。
- ③アテネ/(希腊)雅典。
- ④バルテノン/(希神)巴台农神庙。
- ⑤エジプト/埃及。
- ⑥フロリダ/(美国)佛罗里达。
- ⑦バージニア/(美国)弗吉尼亚。

2. 友達のできない人に

友達ができない原因についてはいろいろ考えられる。人間には顔形、性格、才能などの違いから、人に好かれやすい人と、そうでない人があり、後者がいっばんに友達に恵まれないと考えられるが、最初から自分は人に好かれたいと思ひこむことは、ますます人を遠ざけることにならないだろうか。友達ができない理由の中で一番大きなものは、この劣等感、もしくは、この臆病さではないかと思われる。

人間は理由のない不安や恐怖から臆病になっていることがある。自分の顔や性格が、他人に快感を与えないと思ひこみ、人の前に出ても、そのことにばかり気をとられていると、それがかたいカラになって、自分の持っている様々な美点までを覆い隠して、ますます自分を人に好かれたい人間にしてしまう。

自分に友達のできないのは、口が重く、しゃべることが下手で、相手を引き付けたり、喜ばせたりできないからだと思っている人も少なくない。しかし、このような人も、人間というのは、こちらの言うことなど、そんなに注意して聞いているものではないと考えることによって、気持ちが楽にならないだろうか。なにかすばらしいことを自分が言うと、相手が期待しているのではないかと考えるために、ますます口が重くなる。だが、世の中で、自分の言うことに一番耳を傾けているのは、ほかならぬ自分自身であることを知っておくのは、むだではあるまい。なにかつまらないことを言って笑われはしまいかと心配して、胸をドキドキさせてしゃべっている時でも、相手は別のことを考えている場合だってある。くよくよと心配するのはあまり意味のないことである。

「自分を虫けらだと思っているものは人にふみにじられる」という格言がフランスにあるが、他人から尊重されるには、まず、自分で自分を尊重することが第一である。われながらつまらないやつだと思っている人間に、他人が敬意を払うはずがあるまい。自分は人に好かれたい人間だと思っている限り、自分を好いてくれる人はいないだろう。人間というのは、いつも友達をほしそうにして、愛想笑いをしている人間よりも、自信のある態度をくずさない人間に対して、むしろ友情を求めたがるものである。

友達のできないことを嘆く人に次に問いたいことは、あなたは自分の周囲になにか冷たい空気をいつも流していないだろうか、ということである。友情というものは、まずこちらからなにかを、しかもなんらかの報酬を期待することなしに与えることによって成り立つ。与えること自体が喜びであるのが真の友情というものである。自分の選んだ人で、その人のためにはなにを与えても惜しくはないという友人を持つことは人生の至福ではないだろうか。

わたしが冷たい空気というのは、好きな人にはすべてを与えるという気持ちが乏しいこと

を意味する。最初から与える気持ちの全然ない人に友達のできるはずがないが、たとえ与える気持ちがあっても、その代償をひそかに期待するようでは、真の友情は結ばれない。人間は敏感であるから、報酬を期待して与えられる友情は、これを無意識のうちに見破って、警戒する。友達のできないことを嘆く人は、このような、他人を警戒させるものが自分にないかどうかを、十分に反省してみる必要があるだろう。それと同時に注意すべきことは、他人から報酬を期待しない友情を与えられた時、それを素直に、心から喜んで受け入れないで、これにはなんらかの目的があるのではないかと警戒することであろう。このような警戒心もまた、冷たい空気となって、君たちを包み、友達を寄せつけない。

いっぽんに、友達のないことを嘆く人には、このような冷たい警戒心で、無意識のうちに、自己を武装している人が多いように思われる。

(河盛好藏作「人とつき合う法」による)

〔読解練習〕

1. 友達のできない原因について考えれば、_____が主な要素だと考えられる。
 - A. 顔形
 - B. 劣等感
 - C. 才能
 - D. 性格
2. 一般に、どのような人のほうが劣等感や臆病になりやすいのか。
 - A. 人に好かれやすい人
 - B. 人に好かれない人
 - C. 人に好かれなれないと思ひこむ人
 - D. 内向的な性格を持っている人
3. 臆病になる理由を考えれば、_____。
 - A. 理由のない不安や恐怖から来るものがある
 - B. 自分が他人に迷惑をかけると思ひこむものがある
 - C. 人の美点と関係があると考えられる
 - D. 他人の美点と関係があると考えられる
4. 口が重く、しゃべることが下手な人は、たぶん_____だろう。
 - A. 気持ちが楽でない
 - B. 他人に喜ばせたりできない
 - C. 相手に期待される
 - D. 相手のことを気にしすぎる
5. 自分の言うことに一番耳をすまして聞くものは、_____である。
 - A. 話の相手
 - B. 自分自身
 - C. 期待している人
 - D. 自分の友達

6. 自分が真面目に心配して話している間に、_____者もいる。
A. 胸をドキドキさせる
B. 耳を傾けて聞く
C. くよくよと心配する
D. 別のことを考える
7. 「自分を虫けらだと……」という格言は、_____という意味である。
A. 他人から尊重されることが重要だ
B. 自分で自分を尊重することが重要だ
C. 自分が他人に敬意を払うことが重要だ
D. 他人が自分に敬意を払うことが重要だ
8. 人間というものはいつも_____人間に対して友情を求めたがるものである。
A. 自信のある態度をくずさない
B. 愛想笑いをしている
C. 友達をほしそうな
D. 自分を尊重する
9. 人生の至福というものは、_____友人を持つことである。
A. 惜しいということなく自分になんでも与えてくれる
B. 惜しいということなくその人になにかを与える
C. 与える自体が喜びであると思う
D. 警戒心のない
10. 一般に、友達のないことを嘆く人には、_____が多いように思われる。
A. 報酬を期待する人
B. 敏感な人
C. 警戒心で自己を武装している人
D. 代償をひそかに期待する人

〔難しい言葉〕

- ① 思いこむ（おもいこむ）/ 坚信，深信
② 遠ざける（とおざける）/ 疏远
③ 臆病（おくびょう）/ 胆小，胆怯
④ ほかならぬ/ 无非，不外乎
⑤ くよくよ/ 烦恼，愁眉不展
⑥ 虫けら（むしけら）/ 微不足道的人
⑦ ふみにじる/ 践踏，败坏（名誉）
⑧ 寄せつける（よせつける）/ 和……接近
⑨ 引き付ける（ひきつける）/ 吸引
⑩ 素直（すなお）/ 诚挚，老老实实，天真
⑪ ひそか/ 偷偷地，悄悄
⑫ 愛想笑い（あいそうわらい）/ 陪笑

3. 日本人はどこから来たか

黄色い皮膚、黒いまっすぐな髪、褐色の瞳、体毛があまり濃くないこと、幼児期な尾骶骨周辺にできる蒙古斑、といった形質的な特徴は、日本人がアジアから新大陸にかけて広がるモンゴロイド人種の一派であることを示している。ジャベル形門歯、高い頬骨などは、すでに40万年前の北京原人に認められる特徴である。

ただし、日本人は、その顔つき、形質に個人差が大きく、統一的な特徴が掴みにくいといわれる。旧石器時代以来、人類の移動はユーラシア大陸の内陸から海岸部へ向かって押し出す圧力が動いており、その影響は日本にも当然及んだ。地理的に行き止まりで流出口のない日本列島に、長時間のうちに、さまざまな人種が次々と上陸し、それが積み重ねられ混合して日本人という人種が造り上げられたと考えられていた。

しかし、最近の形質人類学では、従来不変であるとされていた形質的な特徴、例えば、長頭、短頭などを示す頭指数は、徐々に変化することが分かってきた。一例をあげると、明治以後百年ほどのうち、日本人の平均身長は10センチ近い伸びを見せ、顔が長くなり、鼻が高くなるといった変化が見られるのである。それは、主として肉や乳製品を多く取るようになった食生活や、西洋化した生活型の変化が原因だと考えられる。

このような点から考えると、日本人は必ずしもその身体的特徴に大きな変化をもたらすような大規模の外部からの人口移動を受けて形成されたものではないかもしれない。旧石器時代以来、基本的な人口集団があり、それが時折、多少の混血を受けながら現代日本人に進化してきたと考えることもできよう。

日本列島で発見された人類の化石からその進化をたどると、大陸とつながっていた旧石器時代には、体が小さくて花車なつくりのグループと頑丈な体を持ったグループが併存していたという。続く縄文時代初期には、一般的に小柄で花車なつくりだった。しかし、中期以降は頑丈な体を持つようになった。その変化については、栄養差による意見と、旧石器時代の頑丈なつくりのグループが優勢になった、つまり人種の違いだという意見とがある。ついで日本人の形質に大きな変化が現れたのは、農耕の始まった弥生時代である。弥生人は縄文人と比べて身長が高く、突出が弱くなり、顔のつくりが平面的で面長である。その特徴は、大陸に近い西日本海岸部に最も強いが、東日本や山間部でも同じ傾向が見られる。その変化については、大陸からの大量の移民による人種混合による意見と、稲作技術の受入れによる食糧状態の安定及び栄養の向上の寄与を強調する意見とがある。

弥生時代の末期から七世紀までは、大陸との交渉が激しかった時期で、絶えず新しい人々が日本へ移入し、混血が行なわれたことは事実として認められる。日本文化と同じく、日本人も長い時間の間に、多様な要素が集積されて形成されたことが分かるのである。

日本列島に在住する人種グループの中で、最も注目を引くのはアイヌ人である。アイヌ人

は皮膚の色が白い、多毛で、目鼻立ちがはっきりしているなどの特徴がある。その特徴から、アイヌ人はコーカソイド人種であるとか、どの人種とも違う古代的な人種である」などさまざまな説があり、謎の多い人種とされていた。しかし、最近では、歯の特徴、白人特有の標識遺伝子が全くないなど、さまざまな新事実が相ついで発見された。また、頭骨の測定値を使って、コンピューターで多変量解析を行なった結果でも、アイヌ人はやはりモンゴロイドの一派であることが分かってきた。その結果、日本北部の縄文人が地理的に北海道で孤立化し、狩猟採集生活を続けたことにより、独自の小進化を重ね、現代日本人とは一見異なる人種の特徴を持つに至ったものと考えられるようになった。

日本人はどこからきたかについて、形質的な特徴のほか、またある学者は、日本語と外国語を比べて、どの国の言葉とよく似ているか、溯ろうとした。

このように、いろいろな学者がそれぞれ研究を進めているが、確かなことはまだよく分からない。

恐らく、回りから出た人人が次第に混合しながら、現在の日本民族になったのであろう。

(梅棹忠夫編「日本文明 77の鍵」による)

〔読解練習〕

1. 日本人がモンゴロイド人種の派であるということは、_____といった形質的特徴からである。
 - A. 黄色い皮膚、黒い髪、黒い瞳、濃い体毛
 - B. 皮膚の色が白く、多毛で、目鼻立ちがはっきりしている
 - C. 身長が高く、こゝ突が弱く、顔のつくりが平面的で面長である
 - D. 黄色い皮膚、黒い髪、褐色の瞳、体毛が濃くなく蒙古斑がある
2. シャベル形門歯、高い頬骨など北京原人に認められる特徴は_____の形質的特徴である。
 - A. コーカソイド人種
 - B. モンゴロイド人種
 - C. 古代的な人種
 - D. 謎の人種
3. 日本人という人種は_____。
 - A. 旧石器時代にできた古代的な人種である
 - B. ユーラシア大陸の内陸からきた人種である
 - C. さまざまな人種が次々と上陸し、大規模の外部からの人口移動を受けて形成されたと断言できる
 - D. まず基本的な人口集団があり、それが多少の混血を受けながら現代日本人に進化してきたかも知れない
4. 日本列島が大陸とつながっていた時代は_____である。
 - A. 旧石器時代
 - B. 縄文時代

- C. 弥生時代
D. 七世紀ごろ
5. 旧石器時代に日本には、_____。
- A. 体が小さくて花車なつくりのグループしか存在していなかった
B. 頑大な体を持ったグループしか存在していなかった
C. AとB両者が併存していた
D. 大陸からきた形質的特徴の違った人種がすでに存在していた
6. 日本人の体質に大きな変化が現われたのは、_____である。
- A. 旧石器時代
B. 縄文時代初期
C. 縄文時代中期
D. 弥生時代
7. 近代から現代にかけて日本人の形質に変化が現われたのは、_____によるものである。
- A. 人種混合
B. 栄養の向上
C. 地理的孤立化
D. 食生活と生活型の変化
8. アイヌ人は_____と言われる。
- A. コーカソイド人種
B. どの人種とも違う古代的な人種
C. モンゴロイドの一派
D. 混合人種

〔難しい言葉〕

- ①花車（きゃしゃ）/苗条，窈窕
②頑丈（がんじょう）/（身体）健壯
③小柄（こがら）/身材短小
④標識遺伝子（ひょうしきいでんし）/标识遗传因子
⑤相つぐ（あいつぐ）/相繼
⑥溯る（さかのぼる）/追溯
⑦ジャベル形/铁铲形
⑧ユーラシア大陸（たいりく）/欧亚大陆

〔注〕

- ①モンゴロイド人種/蒙古人种。
②ユーラシア大陸/欧亚大陆。
③形質人類学/遗传特征人类学。
④縄文時代/縄文时代。縄文指日本图陶器的縄文或席文的图案。縄文时代又称縄文文化时代。
⑤弥生時代/弥生时代。指日本公元前3～2世纪至公元3世纪的时期。
⑥アイヌ人/阿伊努人。生活于日本北部的土著居民。

4. ネス湖の怪獣

イギリスの北スコットランドのインバーネス州に、ネス湖（ロホ・ネス）という美しい湖がある。いつのころからか、この湖にとてつもなく大きな海へびか恐竜と思われる怪獣が住んでいるという噂が立ち、その怪獣を見たという人が何人も現れた。

1933年の夏、スパイサー夫妻が湖のほとりをドライブしていると、300メートルほど離れた湖水に、とてつもなく大きな怪獣が姿を現した。一部は水中に隠れているので全体の様子は分からなかったが、カメに似た頭とキリンに似た長い首を持ち、背中に五つの瘤があり、へびのように体をくねらせながら、かなりの速さで水面を泳ぎ、やがて水中に姿を消した。全体の長さはよく分からないが、20メートルぐらいはあっただろうとのことである。

その後も、ネス湖でこの不思議な怪獣を見たという人が何人か現れた。1938年6月15日のこと、エーアシャー（スコットランド）のステブントンに住むウォドロウ夫妻が、五人の仲間と共にネス湖に船を浮べていると、突然百メートルほど前の水面に、例の怪獣が現れ、非常な速さで走り去ったということである。

それからいく日も経たず、リバプール市に住む二人の神父さんが、ネス湖に船を浮べていると、300メートルほど前方の水面に、背に五つの瘤を付けた尾のある大きな怪獣が姿を現し、ゆうゆう泳いでいくのを見て、びっくり仰天したということである。

ネス湖の怪獣はいつも夏になると姿を見せ、秋近くなるといつのまにか姿を消してしまうので、ゴジラやラドンのように、だれかが観光客めあてに怪獣を作り、演出しているのではないかという噂もしばしばある。

そんなことから、1955年の初め、スコットランドの航海クラブ員とBBC放送局とイギリス海軍省が協力して、果してネス湖に怪獣はいるかどうか、調べることにした。

この時の調査の結果については、その後何も発表されなかったが、それから5年余り経って、1960年6月15日付けロイター電は、次のような電報を各新聞社に送っている。

イギリス、スコットランドのロホ・ネス（ネス湖）には、昔から怪獣が住んでいるという言い伝えがあるが、その怪獣が泳いでいるのを見せるというフィルムが、13日（6日）の夜、イギリスのBBCテレビで紹介された。映写時間はほぼ40秒ばかりで、怪獣の姿はぼんやりしか見られなかった。始め怪獣はじっとしていたが、まもなく左右に体を動かし、やがてスピードを出し、白い泡を出しながら水中に潜ってしまった。この映画を撮影したのはティム・ディンスという、36歳の技師で、この湖の傍に6日間も潜んで写したのだそうだが、テレビを見た人たちはどうも画面がはっきりせず、本物か偽物かよく分からないと言っているという。

ネス湖の怪獣を見たという人の話によると、頭は体の割合に小さく、カメの形をし、首は長く、へびかキリンのようで、背中に五つほど瘤があるということである。水面に姿を表したかと思うと、非常な速さで泳ぎ、後に白波を立てて水中に潜るので、なかなか写真を取り